

組合員参加で商品開発「あったらいいな！PROJECT」第3弾商品 和風味のパン用ふりかけ「CO・OP和ぱん」新発売

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、会長：浅田 克己）は、コープネット事業連合（略称：コープネット、理事長：赤松 光）の組合員参加で開発した和風味のパン用ふりかけ「CO・OP和ぱん」を2014年3月1日に発売します。

今回発売する「CO・OP和ぱん」は、組合員参加で商品開発に取り組む「あったらいいな！PROJECT」の第3弾商品です。朝食にパンを食べる組合員の、「もっとパンの食べ方を広げたい」「大人世代に向けた新しい味が欲しい」との声から誕生しました。

「CO・OP和ぱん」は、バターやマーガリンを塗ったパンにふりかけてオーブントースターで約2分（1000W）焼くだけで、手軽に“和風トースト”が楽しめます。毎日違った味を楽しむよう、和の素材を生かした「ごまみそ味」、「かぼちゃミックス味」、「抹茶味」の3種を詰め合わせました。また、現代の食生活で不足しがちなカルシウム入りです。

◆「CO・OP和ぱん」商品概要

- 【内容量】 9袋入（3種×3袋）
- 【賞味期間】 365日
- 【参考価格】 198円
- 【販売方法】 コープネットほか、全国の宅配および店舗
- 【発売日】 2014年3月1日

※取り扱いの有無、時期、価格は各生協によって異なります。

※商品画像をご希望の方は、日本生協連広報部までご連絡ください。



「CO・OP和ぱん」パッケージ

◆味のバリエーション（3種）

		
<p>「ごまみそ味」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みそベースに隠し味のしょうゆを加えているので香ばしい焼き上がり。 ・白ごまと大豆フレーク入りで、食感も楽しめます。 ・1袋当たりカルシウム 60mg 含有 	<p>「かぼちゃミックス味」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃとトマト、にんじんの彩り野菜を使った甘めの味付け。 ・野菜フレーク入りで、食感とカラフルな色合いが楽しめます。 ・1袋当たりカルシウム 35mg 含有 	<p>「抹茶味」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国産抹茶の風味とほのかな甘さのバランスのいい味が特長です。 ・香ばしいあられが入ったカリカリ食感。 ・1袋当たりカルシウム 42mg 含有

◆「あったらいいな！PROJECT」について

日本生協連ではこれまでも、組合員の声をもとにさまざまな改善を行ってきました。2013年度からは組合員の声から新しい商品を作る「あったらいいな！PROJECT」を進めてきました。

「CO・OP 和ぱん」は「あったらいいな！PROJECT」の第3弾商品として開発した商品です。

【これまでの取り組み】

第1弾「CO・OP たっぷり野菜のよりどりスープセット」

朝のパン食で、“子どもにもっと野菜を食べさせたい”をコンセプトにした商品です。



第2弾「CO・OP 黒豆パン」

シニア層にも満足いただける“オトナ世代向けの和テイスト”をコンセプトに、丹波黒黒豆をたっぷり使用した商品です。



◆「CO・OP 和ぱん」ができるまで

今回の商品開発は第1弾商品と同様に、コープ会からスタートしました。コープ会とは、毎月1回、組合員が集まり、くらしの話やコープの商品を試食しながら、楽しくおしゃべりする場です。

このコープ会で、大人世代の組合員が「和」のメニューに健康やおいしさを感じていることや、朝食にパンを食べる家庭が増えてきたことが分かりました。第3弾商品は、「もっとパンの食べ方を広げたい」「大人世代に向けた新しい味が欲しい」との組合員の声を取り入れ、“夫婦ふたりの朝のパン食を和のテイストで豊かにする”商品を開発を進めることになりました。

その後、大人世代の夫婦2人の食卓について組合員へのグループインタビューを行い、ここで出された意見をもとに、実際の商品開発が始まりました。



コープ会でのグループインタビュー



商品開発セッション

開発の過程では、コープネットの組合員理事、コープネットや日本生協連の職員、メーカー担当者が集まって6回にわたる商品開発セッションを行い、「CO・OP 和ぱん」が完成しました。

商品開発に携わった組合員の声（抜粋）

「自分がいいと思っても、違う意見があったり。今までにない商品だから手にとってもらえるように、パッケージも大切にしました。遊び心のある商品です。自分たちの声でコープ商品が変わっていくことを伝えていきたいです」

コープネット 開発担当の声（抜粋）

「前回開発した、たっぷり野菜のよりどりスープや黒豆パンとくらべても負けられないおいしさです。開発担当ではつくれない、素（す）の生活者だからこそ生み出すことができた商品だと思います」